大分県の高校生マンドリンクラブ演奏会について、前述しましたが、熊本の鹿本高校で頑張っているマンドリンクラブについて、書いていただきました。

鹿本高校ギターマンドリンクラブ

東 洋一郎

９年前、当時熊本マンドリン協会の会長をされていた市原道啓さんから声をかけていただき、鹿本高校ギターマンドリンクラブと関わらせてもらうようになりました。
鹿本高校は、吹奏楽部、合唱部など他の音楽系の部活動も充実しており、毎年新入部員の確保が大変です。わずか２名の部員で活動した時期もありました。
しかし、部員の頑張りと顧問の先生方の支えにより、毎年器楽コンクールに参加し、定演も開催されています。現在は、８名の部員で練習に励んでいます。
高校生の吸収力のすごさをいつも感じながら、練習に参加しています。
昨年１２月に行われた選考会では練習の成果を発揮し、今年８月に開催される「全国高等学校総合文化祭」出場の推薦を、熊本県器楽部門代表としていただくことができました。
これを機に鹿本高校ギターマンドリンクラブがさらに発展することを願っています。

訃報

マンドリン製作家「米丸健二」さんを偲んで

鈴木嘉教

2015 年 11 月 8 日病気のため 70 歳で急逝された、米丸健二さんの葬儀が 11 月 11 日、宮崎市で執り行われました。
会場では、喪主である奥様からの献花に「健二さん ありがとう」の言葉がありました。
そして市内のマンドリン団体の有志による献奏の中で故人を見送りました。また、会葬御礼の言葉に「まぶたをとじれば、バンダナを巻きエプロンを身に付けた夫の姿が甦ります。生涯にわたってマンドリン製作に取り組み続けた夫にとってそれは仕事に向かう際の“正装”でした。働く夫の横顔が、いつもどこか楽しげだったのは、マンドリンを手に取った方々の笑顔を想像していたからでしょうか。お客様ひとりひとりの要望にあわせて「少しでも良いものを」と駆け抜けた日々は、さぞ充実していたに違いありません。・・・・・・・」
マンドリン製作家・米丸健二さんのマンドリン製作に対する想いを４年前に工房等で　お聞きしながら書き留めていましたので紹介させていただきますが、同じ歳の私にとって残念でなりません。

合掌

米丸さんの楽器

山口章太

２７年前、楽器を制作して貰う為、宮崎まで行き、
自分の思いを沢山伝えて、それに応えるように、
素晴らしい楽器を作って下さいました。
楽器の調整で何十回 宮崎まで行ったことか。
工房で見る後ろ姿が 大好きでした。
優しくて 太陽のような方でした。
制作して下さった ２つのマンドリンは、感謝の
気持ちを込めて これからも弾き続けていきたいと
思います。